

日本学生支援機構奨学金採用候補者決定通知記入例

【進学後記入欄】

学籍番号	例) 20310234 (8桁ハイフン不要)		
学部・学科	例) 人文社会科学部 経済学科		
(フリガナ)	例) シズオカ タロウ		
氏名	例) 静岡 太郎		
進学後の 連絡先 (本人)	住所	〒 自宅外通学者は下宿先等の住所(部屋番号等を忘れずに)を記入すること(住所の横に(自宅 or 自宅外)と記入)	
	電話番号	054 - ×× - ××	携帯 電話番号 090 - ×× - ××

1. 奨学金振込口座について (全員次の口にチェック)

- 採用候補者本人名義の普通預金(通常貯金)口座を金融機関に設けました。

2. 給付奨学金について (給付奨学金の採用候補者となっている人は、いずれか1つの口にチェック)

- 進学届にて「自宅通学」を選択します(入学月より自宅通学となるため)。
 進学届にて「自宅外通学」を選択します(入学月より自宅外通学となるため)。
 ついては、進学先の学校へ入学月において自宅外通学であることの証明書類を提出します。

3. 貸与奨学金について

(1) 入学時特別増額貸与奨学金

(入学時特別増額貸与奨学金の利用条件について、「日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込：必要」と印字がある人は、次のどちらかの口にチェック)

- 入学時特別増額貸与奨学金を利用します。
 ついては、本紙に次の2点の書類を添えて提出します。
 ① 「入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書」(本通知に同封の様式)
 ② 融資できないことが記載された日本政策金融公庫からの通知文のコピー
 (注着はがきの場合は、申込者氏名が印字されている宛名面のコピーも提出します。)
- 進学届の提出時に、入学時特別増額貸与奨学金を辞退します(必要書類がととのられなかった場合を含む)。
- 例) 令和5年4月10日 静岡 太郎

(2) 保証制度 (「人的保証」を選択している奨学金がある人は、次のどちらかの口にチェック)

- 連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方が日本学生支援機構の定める条件に合致することを確認し、連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方から保証を引き受ける旨の承諾を得ました。
 進学届の提出時に、保証制度を人的保証から機関保証に変更します(条件を満たす人に承諾を得られなかった場合を含む)。

記入上の注意

① 住所・電話番号・携帯番号の記入（全員）

学生の住所は、2023年4月1日以降に居住する住所を記入してください。自宅外通学（下宿、寮）の学生は、実家の住所を記入しないよう気を付けてください。また、住所の横に通学区分（自宅 or 自宅外）を記入してください。電話番号と携帯番号は、必ず本人と連絡が繋がる番号を記入してください。固定電話が無い場合は、携帯番号のみの記入で問題ありません。

② 通学区分の記入（給付奨学金採用者のみ）

給付奨学金採用者は、入学月（2023年4月）以降の通学区分を記入してください。
実家から通学する場合→自宅通学 1人暮らしや学生寮等→自宅外通学

※給付奨学金自宅外月額希望者と、第一種奨学金の自宅外最高月額（51,000円）希望者は、自宅外通学の証明書類の提出が必要となります。

賃貸契約書の写しの右上に、学籍番号と名前を記入してください。（本学寮生は証明書類不要）
提出方法について、給付奨学金採用者と第一種奨学金採用者で異なる点がありますので、説明会（資料配布）担当者の案内に従ってください。

③ 入学時特別増額貸与奨学金について記入（該当者のみ）

奨学金の種類に「入学時特別増額貸与奨学金 国の教育ローンの申込：必要」と記載されている場合は、該当箇所をチェックする。入学時特別増額貸与奨学金を辞退する場合は、チェックの上、「辞退します」の右横に日付と氏名を記入してください。

※「辞退します」と選択する場合に記載する、右横の日付は、決定通知書提出日として下さい。
※「利用します」と選択した場合は、「入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書」と、「融資できないことが記載された日本政策金融公庫からの通知文コピー」を予約採用者説明会で提出する必要があります。書類の用意ができず、提出ができない場合は、入学時特別増額貸与奨学金を利用することはできませんので、「辞退します」を選択してください。

・訂正がある場合は、二重線で消した後に余白にわかるように記載してください。

（訂正印は不要です。）

・決定通知書に添付する書類（自宅外の証明、入学時特別増額貸与奨学金に係る証明書類）がある場合は、決定通知書の左上にクリップ留めの上で、まとめて提出してください。（ホチキスで留めないでください）